刀　銘　主馬首藤原朝臣一平安代

【所　在　地】鹿児島市城山町７－２　県歴史資料センター黎明館（姶良郡姶良町城野神社所有）
【種　　別】県指定有形文化財（工芸品）
【指定年月日】昭和 35 年６月 20 日

法量　長さ 42.7cm，反り 1.3cm
形状　脇指，鎬造り，庵棟，身幅広く中鋒。
鍛え　小板目よくつむ。
刃文　中直刃で匂深く，刃の内から沸が良くつく。
帽子　小丸，棟に沿って返り深し。
茎　　生ぶで，先は栗尻，鑢目は桧垣，目釘孔１個。

銘文に切られるとおり，主馬首一平安代が享保９（1724）年８月に，姶良町木津志の城野神社に奉納したものである。同じような奉納刀としては，安代の地元宮坂神社に旧国宝として伝わった刀が知られる。銘は「(一葉葵紋）主馬首一平安代敬白　時享和八辛卯年九月九日　於薩州給黎蘋郡作之　奉寄進　三百余社宝前　昔走　台命云懇釆蘋旌功葵葉受爵芥身家足恒産海隘実賓　好箇三尺報賽　尊神」と切られ, 歴史的な背景も理解できるが, 残念ながらこの刀は戦後の混乱期から行方不明である。

脇指：銘（一葉葵紋）薩州給黎郡住主馬首藤原朝臣一平安代敬白
奉寄進城宮大権現御　前　享保九甲辰八月彼岸日